

## 国際社会学部

# 左右田直規

Soda Naoki

地域社会研究コース／東南アジア（第一）地域政治学、歴史学



### 多様性の中でのつながりを求めて

「アジアの縮図」ともいえる多民族社会マレーシアの魅力に惹きつけられて研究を始め、三十年余りの歳月が過ぎました。

多様な人々が共存するマレーシア社会の成り立ちを理解するために、多民族社会における民族・国民アイデンティティや民主主義にまつわる問題について探究してきました。

授業では、マレーシアや島嶼部東南アジアの政治や社会の構造と変化をどう捉えたらよいかを探りながら、マレーシアや東南アジアから世の中を考えるきっかけづくりをしたいと考えています。

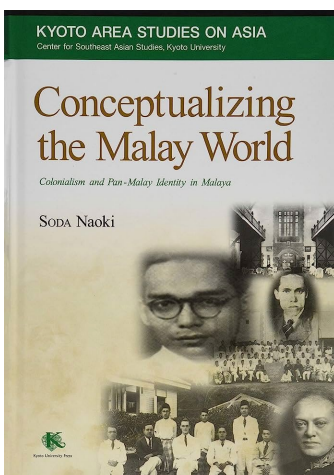
### 研究紹介

私のマレーシア政治社会史研究は、主に以下の三つの柱から成り立っています。

ひとつは、英領マラヤにおけるマレー・アイデンティティの形成をめぐる思想史研究です。英領マラヤにおける植民地教育と「マレー世界」像の形成に関する思想史研究に取り組んできました。

二つ目は、民主主義とナショナリズムにまつわるマレーシア現代政治史研究です。マハティール政権期の政治指導と民主主義に関して研究してきたほか、最近では、現代マレーシアにおける君主制を民主主義とナショナリズムの観点から考察しています。

三つ目は、マレーシアの都市社会史に関する研究です。マレーシアにおける都市化や郊外化の社会史についても研究を進めてきました。



### 担当授業

- 地域研究入門
- マレーシア研究入門
- マレーシア政治社会史
- 島嶼部東南アジア政治社会史

### 関連する分野

- 政治史
- 政治思想史
- 政治社会史
- 東南アジア研究

### 出版物

- *Conceptualizing the Malay World* (単著)
- 『歴史の生成』(共著)
- 『東南アジアを知るための50章』(共著)
- 『東南アジアのイスラーム』(共著)
- 『マハティール政権下のマレーシア』(共著)
- 『民主化とナショナリズムの現地点』(共著)

## 国際社会学部

# 島嶼部東南アジア政治社会史ゼミ

「地域から世の中を考える」——島嶼部東南アジアの近現代史と現代政治社会を考察することを通じて、民族・国民形成、民主主義、宗教の復興、都市化と社会変容などの諸問題について、根源的に考える力と、その考えを論理的に表現する力を身につけることを目指すゼミです。



クアラ・トレンガヌのモスク（マレーシア・トレンガヌ州）

島嶼部東南アジアでは、多様な文化が混じり合いつつ共存する多彩で魅力的な地域が形成されてきました。この共存の過程では、時として摩擦や対立が生じることもありました。そうした軋轢や葛藤に人びとがどのように向き合い、対処してきたのかを探究することは、ますます多様化が進む世界に生きる私たちにとっても豊かな学びがあるのではないのでしょうか。過去の卒論を見ると、民族・国民形成、宗教、民主化、家族・ジェンダー、移民、貧困、教育、メディア、観光、都市、日本・東南アジア関係などに関連するテーマに取り組む学生が多いです。学問分野からいうと、地域研究という共通性を持ちつつ、社会学、歴史学、政治学、教育学に関わるテーマを選ぶ人が多いといえます。

## 卒論

- 「『頭脳流出』から『頭脳循環』へ—マレーシア・シンガポール・オーストラリアにおける高度人材獲得への取り組みに関する比較研究—」
- 「マレーシアの道德教育からみる国民統合—国家理念ルクヌガラの適用とその変容—」
- 「ウィジ・トゥクルー—インドネシアの抵抗詩人のライフ・ストーリー—と人々による語り—」
- 「ミャンマー—国定歴史教科書における歴史の語りとナショナリズム—」

## おススメの本

- 白石隆『海の帝国——アジアをどう考えるか』中央公論新社、2000.
- 宇高雄志『住まいと暮らしからみる 多民族社会マレーシア』南船北馬舎、2008.
- ラット『カンボンボーイ』（左右田直規監訳／稗田奈津江訳）東京外国語大学出版会、2014年.